

小串翔ピアノ・リサイタル

ファンタジー

—音の情景—

第一部 | ピアノ・ソロ

ラヴェル：亡き王女の為のパヴァーヌ

M. Ravel: Pavane pour une infante défunte

ショパン：ノクターン 作品 9

F. Chopin: Nocturne, opus 9

ドビュッシー：月の光

C. Debussy: Clair de lune

ショパン：幻想即興曲

F. Chopin: Fantaisie Impromptu

第二部 | ピアノと語り

「漂泊の魂～八雲の面影」

シューマン：子供の情景

R. Schumann: Scènes d'enfants, opus 15

語り／又木克昌

第三部 | ピアノとヴィオラ

ヒンデミット：

P. Hindemith:

ヴィオラとピアノの為のソナタ

Sonate pour alto et piano,

作品 11-4

opus 11 n°4

ヴィオラ／飯野和英

※曲目は、都合により変更になる場合がございます。

ピアノ／小串 翔

©Shuzo Ogushi

2025年

12月14日(日)

開場 13:30 / 開演 14:00

全席自由 1,500円 ※未就学児入場不可

2025年9月13日(土)10:00 から 藤枝市民会館 窓口にてチケット発売開始

藤枝市民会館 〒426-0026 静岡県藤枝市岡出山 1-11-1
[お問合せ] TEL.054-643-3931



藤枝市民会館
ウェブサイト

主催：藤枝市民会館 指定管理者(株)アス・藤枝オリコムピアーグループ

小串翔ピアノ・リサイタル - 音の情景 -

ピアノ
小串 翔 (おぐし しょう)

Sho Ogushi



©Shuzo Ogushi

大阪生まれ、東京・パリ・ベルギーを経て、日本に帰ってきたピアニスト。

東京音楽大学卒業後、2011年、フランスへ留学。CRR de Paris (パリ地方音楽院) に入学。在学中、クロード・カーン国際ピアノコンクールで第2位を受賞。パリのコンサートホール Salle Gaveau (サル・ガヴオー) にて演奏家としてデビュー。フランス人ヴァイオリニスト Christophe Boulier (第20回ロネティボー国際コンクール最高位受賞) に認められ、コンサートツアーで共演を果たす。またCD制作にもピアニストとして携わる。

2016年、ルイ・ヴィトン財団美術館のコンサート部門にて音楽スタッフとして所属。ピアニスト Boris Berezovsky やチェリスト Gautier Capuçon などの世界的音楽家のコンサートや、レコードレーベルのドイツ・グラモフォンのCD制作をサポート。その他、フランス・スペイン・イタリアなどヨーロッパ諸国、そして日本で、自身のピアノ・ソロや室内楽のコンサート活動を意欲的に行う。

2017年、フランスからベルギーへ移住。ブリュッセル王立音楽院の修士課程伴奏科に首席入学。ベルギー王立歌劇場管弦楽団〈ラ・モネ〉のアカデミー生オーディションや、ブリュッセル王立音楽院サクソ科教授オーディションの伴奏者として活動。

同年、オーデルゲム市にて自身の音楽教室〈オーデルゲム・ミュージック・サロン〉を開講。0歳〜70代まで200名以上の生徒を輩出する人気教室へと成長する。

2020年、ロックダウン(外出禁止令)が発令された日に、オンライン・レッスンを開始。また、生徒の演奏を収録し1本の動画に編集した、オンライン発表会〈おうち de コンサート〉(全6回)をYouTubeチャンネルにて公開。総再生回数10,000回を超える人気コンテンツとなる。0歳からの親子コンサート(全5回)、ピアノ・ヴァイオリン発表会(全12回)を企画・開催。

2024年、14年に渡るヨーロッパでの活動で得た経験を還元していくため日本へ帰国。

2025年、東京都足立区の小学校にてキャリア教育の一環で小学6年生たちへ公演を行う。また、ピアノ・ソロコンサートや自身が企画する〈Addition+〉デュオ・コンサートを、藤枝・関東・関西で開催し、成功を収める。静岡県藤枝市に音楽教室〈オーデルゲム・ミュージック・サロン〉を移転、同年10月には第13回ピアノ発表会を開催。これまでに、弘中孝、石田昌代、宮崎和子、佐藤暢子、Billy Eidi、Marie-Cathrine Girod、Jean-Louis Caillard、Éric Le Sage、Paul Meyer、Romain Descharmes に師事。



小串 翔 X(旧 twitter)▲



小串 翔 Instagram▲

語り
又木 克昌 (またき かつまさ)

Katsumasa Mataka



東京都立大学、SBS学苑等にて小泉八雲講座を担当。英語で八雲文学を紹介。

イギリスにて演劇武者修行を行い、舞台での実践経験に基づいてシェイクスピアを「劇的」に解説する講座も担当。

第二部 | ピアノと語り「漂泊の魂〜八雲の面影」

〜あらすじ〜

定年退職を迎えた男が一人旅に出る。岡山から出雲へ向かう特急「やくも」に乗車すると、男は車内放送のオルゴール音に心を奪われる。その曲はシューマンの「子供の情景」第1曲「見知らぬ国」。なぜ、車内放送にこの曲なのか？出雲に到着した男は、そこが小泉八雲ゆかりの地であることを知る。そして八雲の著書 Glimpses of Unfamiliar Japan が「やくも」の車内音楽と関係あるのではと推測する。今まで仕事以外に何も趣味のなかった男は、次第に音楽と文学の世界に誘われていく。

ヴィオラ
飯野 和英 (いいの かずひで)

Kazuhide Iino



東京音楽大学入学時にヴィオラに転向し、卒業後は東京芸術大学大学院修士課程に進学。その後渡仏。National De Musique Conservatoire Edger Varese にて研鑽を積む。サントリーホール室内楽アカデミー第二期フェロー修了。第12回日本演奏家コンクール弦楽器部門第2位(1位無し)。第19回コンセルマロニエ21入選。

2017〜19年まで仙台フィルハーモニー管弦楽団ヴィオラ副首席奏者を経て2019年9月より自身の演奏活動を東京で始め、作曲活動も開始。

2021年より Ensemble team 我流奏団を立ち上げ、2枚のアルバムを発売中。映画「ラーゲリより愛を込めて」「少年と犬」のストリングスチームを始め様々な劇版を担当。福岡県 Airtist in Residence 事業に作曲家として選出。

九州交響楽団に自身初のオーケストラ作品『Legend of HIKO- 山影に刻まれた神話-』を初演。ソリストも務める。

藤枝市民会館

<http://fsk-hall.jp/>

施設のご予約・ご質問・お問合せ

TEL 054-643-3931 FAX 054-643-3966

mail fsk@jewel.ocn.ne.jp

開館時間は、8:30~22:00

※ 貸館が無い場合は、17時30分に閉館いたします。
17時30分以降に御用のある方は、事前に市民会館までお気軽にお問い合わせください。

休館日は、毎月第一火曜日です。

※ 1日が火曜の場合、第二火曜日
また年末年始は12/29~1/3

【アクセス】＜公共交通機関＞

JR藤枝駅北口、静岡鉄道バス2番のりば
中部国道線、「千才」下車徒歩10分

JR藤枝駅北口、静岡鉄道バス3番のりば
志太温泉線、市役所まわり『藤枝市役所』



MAP

【ところ】〒426-0026 藤枝市岡出山1-11-1(藤枝市役所敷地内にあります)

